

第五十五回卒業二十年目研修会の報告

大阪で日本国際博覧会が開催されている中、私たちの学び舎山梨大学では、卒業二十年目研修会が盛大に開催されました。

一 実行委員会発足

徽典会では、会員が旧交を温め、これからの歩みを考える機会として、卒業二十年目に研修会を開催しています。今回も徽典会事務局より連絡をいただき、実行委員会を立ち上げて準備を進めてきました。卒業生の多くが教育現場に身を置いていることから、山梨大学で教鞭をとられている三井一希先生に講演を依頼しました。三井先生におかれましては、大変お忙しい中にも関わらず、快くお引き受けいただきました。心より感謝申し上げます。

日時 令和七年七月二十六日（土曜日）

会場 山梨大学 学生会館ラウンジ

内容 研修会・記念撮影・同級会

来賓 山梨大学教育学部准教授

三井 一希 様

徽典会会長

長谷川千秋 様

徽典会筆頭副会長 永田 徹 様

徽典会担当副会長 山田 武人 様

徽典会担当副会長 祝 とよ子 様

徽典会常任理事 堀之内睦男 様

徽典会常任理事 堀内 正基 様

徽典会常任理事 筒井 寿 様

徽典会事務局長 青柳 達也 様

日程 研修会（午後一時～二時三十分）

講師 三井 一希 先生

記念撮影（午後二時三十分～二時五十分）

同級会（午後二時五十分～四時三十分）

参加者の集約については、会員に案内ハガキを郵送し、QRコードを読み込んで、ホームページから出欠席を入力してもらおう方法を取りました。個別連絡も行う中で、総勢十六名の参加となりました。八名の徽典会役員の皆様にもご出席いただき、代表として長谷川千秋会長にご挨拶いただきました。

二 講演

演題 『教育DXの広がりとはデジタル時代に

必要な資質・能力』

最初に一九〇〇年代に描かれた二〇〇〇年の未来

を表した数枚の絵が示されました。それらから今の時代を先人が想像していたことや既に我々は乗り越えていて、そのような社会に必要な資質・能力は何かということについて教えていただきました。

次に、教育現場においてデジタル化がどのように進んでいるのか、生成AIを使うことで子供の学びがどのように変わっていくのかということについて、様々な事例を紹介していただきました。

最後に、予測困難な時代に必要な資質・能力として、授業を通じて、ICTの活用を前提とした学び方を獲得し、場面に応じて最適な学び方に適応できる力を獲得できるようにすること、様々な情報を伝わりやすい、理解しやすいカタチに変える力を獲得できるようにすることが大切であるご教授いただきました。

三 同級会

十六名の同級生が集いました。昔話や互いの近況を話し、あつという間に時間が過ぎていきました。卒業生一人ひとりが、山梨大学で学んだことをもとに、様々な経験を積み、社会の中核を担っていることを感じました。

今年には戦後八十年。世界では様々な場所です争いが続いています。目の前の子どもたちの未来が平和な社会になるよう願うばかりです。

会に集ってくれた仲間、準備を進めてくれた仲間、事務局の先生方、皆様のおかげで、無事に行うことができました。実行委員会として、関わってくださったすべての皆様に感謝申し上げます。

最後に、研修会開催にあたり、多くのご助言をいただいた徽典会事務局長青柳達也先生に多大なる感謝を申し上げます。



(文責 佐藤 貴史)